

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)

【公開番号】特開 2003-341249 (P2003-341249A)

【公開日】平成 15 年 12 月 3 日 (2003.12.3)

【出願番号】特願 2003-77533 (P2003-77533)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/382 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/26 H

B 4 1 M 5/26 1 0 1 H

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】結晶性樹脂、エラストマー、又はこれらの混合物である熱可塑性樹脂 30 ~ 100 重量%、無機微細粉末及び/又は有機フィラー 70 ~ 0 重量%を含有する樹脂フィルム(A)を含み、熱転写型プリンターによる A-4 サイズ(210 mm x 297 mm)用紙の印刷後 2 分以上における 4 隅のカール高さの平均が 50 mm 以下であり、且つ結晶化熱が 60 J / cm³ 以下であることを特徴とする熱転写フィルム。

【請求項 2】熱可塑性樹脂が、結晶性樹脂とエラストマーとの混合物であることを特徴とする請求項 1 に記載の熱転写フィルム。

【請求項 3】エラストマーが、スチレン系熱可塑性エラストマー、オレフィン系熱可塑性エラストマー、ウレタン系熱可塑性エラストマー、エステル系熱可塑性エラストマーより選ばれたエラストマーであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の熱転写フィルム。

【請求項 4】樹脂フィルム(A)が、酸化処理及び/又は画像記録層(B)が設けたものであることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の熱転写フィルム。

【請求項 5】樹脂フィルム(A)に剥離強度が 5 ~ 150 g / cm 幅である層間剥離を可能とする層(C)を設けたことを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の熱転写フィルム。

【請求項 6】請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の熱転写フィルムを用いることを特徴とする記録物。

【請求項 7】請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の熱転写フィルムに熱転写型プリンターで印刷することを特徴とする印刷方法。